記入例
（記入上の注意）

申込書（1/2）

受給希望者				
	フリガナ	メイコウ タロウ	性別	男（○）・女
	氏名	明光 太郎	生年月日	西暦 1999 年 8 月 1 日生
			年齢	17 歳
	在籍校名	都立 ●●高校 2 年 2 組	写真 (4cm×3cm 以上の大きさの写真を用意し、写真の裏面に受給希望者の氏名を記入して、のりで貼り付けてください)	
	電話番号	自宅（ 03 ） 1234 － 5678		
		携帯（ 080 ） 1234 － 5678		
	メール	Taro▲▲▲@●●●.jp		
	現住所	〒111-1111 東京 都（○）道府県 ●●区 ●●町 1-2-3 ●●マンション 101 号室		

自宅の電話と携帯電話どちらかしかお持ちでない場合は、お持ちのほうのみご記入ください。

メールアドレスをお持ちでない場合は記入不要です。

申込者				
	フリガナ	メイコウ ハナコ	性別	男・女（○）
	氏名	明光 花子	生年月日	西暦 1970 年 8 月 1 日生
			年齢	46 歳
	電話番号	自宅（ ） 同上 －	続柄	母
		携帯（ 080 ） 8765 － 4321		
	メール	Hanako▲▲▲@●●●.jp		
	現住所	〒 都道府県 同上		
	勤務先	□□スーパーマーケット ●●店（パート勤務）		

申込者の電話番号や住所が、受給希望者と同じ場合は、「同上」とご記入ください。

当財団からの連絡を主に受ける方にマルをつけてください	受給希望者 ・ 申込者（○）

忘れずにマルをつけてください。採否通知等は、この欄で選択された方へ発送します。

奨学金給付希望年数の確認（どちらかひとつにチェックをいれてください）		
☑	現在、在籍する学校の最終学年ではなく、４月からも、今と同じ学校に通い続ける予定である	
	現在在籍している学校の「最短就業年数」	3 年
	奨学生として採用された場合、複数年度（再来年度～）の継続給付を希望しますか？	はい（○）・いいえ
□	現在、在籍する学校の最終学年（小６、中３、高３等）であり、４月からは別の学校に進学する予定である	
	進学予定の学校（第一志望校）の「最短就業年数」	年
	奨学生として採用された場合、複数年度（再来年度～）の継続給付を希望しますか？	はい ・ いいえ

左端にチェックをいれてください。

どちらか一方を必ずご記入ください。

「最短就業年数」とは、その学校を卒業するまでにかかる年数のことです。
例えば、小学校なら６年、中学校なら３年、高等学校なら３年、大学なら４年が一般的です。
ただし、看護系の大学は６年など、学校によって異なる場合もありますので、ご確認のうえご記入ください。

本奨学金を複数年度にわたって受給するには、年度ごとの「継続」手続及び再審査が必要です。
この欄で「はい」に丸をつけた方が、この申込で、奨学生として採用された場合は、
2017 年 12 月までに、再来年度の給付を受けるための「継続」手続に関するご案内をお送りします。
この欄の記入で、来年度及び再来年度以降の奨学金給付が保証されるわけではありませんのでご注意ください。
（詳しくは募集要項 11 ページ「奨学金の継続手続」をご確認ください）

受給希望者の状況の確認（どれかひとつにチェックをいれてください）		
☑	ひとり親家庭の子女である	
□	健康上の理由で就労が困難な保護者の子女である	
□	児童養護施設、自立援助ホーム等に入所している（以下の内容を記入してください）	
	施設名	
□	里親家庭の子女である	

左端にチェックをいれてください。

当財団の給付奨学金に申し込んだことがありますか？	はい ・ いいえ（○）

この欄の記入内容は選考審査には影響しません。

記入例
（記入上の注意）

申込書（2/2）

	受給希望者と 生計を一にする家族 及び 所得					
非就学者	氏名	続柄	年齢	居住	勤務先	年間所得
	明光　花子	母	42 歳	同居（○）・別居	明光スーパーマーケット　●●店	120 万　円
			歳	同居 ・ 別居		円
			歳	同居 ・ 別居		円
			歳	同居 ・ 別居		円

	氏名	続柄	年齢	居住	設置者別	学校名	学年
就学者、乳幼児	明光　太郎	本人	17 歳	同居（○）・別居	国・公（○）・私	都立　●●高校	2　年
	明光　次郎	弟	15 歳	同居（○）・別居	国・公（○）・私	●●区立　●●中学校	3　年
			歳	同居 ・ 別居	国・公・私		年
			歳	同居 ・ 別居	国・公・私		年
世帯の所得						120万　円	

受給希望者が施設に在籍している場合は、この欄の記入は必要ありません。

現在学校に通っている方や、未就学のお子様の情報はこちらにお書きください。
なお、未就学のお子様の「設置者別」「学校名」「学年」は空欄で結構です。

上記「年間所得」欄の金額の合計をご記入ください。

家庭事情（奨学金を希望する事情、その他説明を要することを具体的に記入）
● ひとり親家庭になった／施設に在籍することとなった／里親制度を利用することとなった経緯や理由、
保護者が就労困難である事情などの説明
● 現在の生活の状況、経済的な理由や健康上の理由などによる生活上困難な点
● 受給希望者の勉学への取組み状況
● ほか、説明を要すること
……などを、できるだけ具体的にご記入ください。

公益財団法人　明光教育研究所　御中

以上の記載内容および申し立て事項に相違ありません。

貴団体の奨学生としてご採用いただきたく、お願いいたします。申込にあたり、貴団体「奨学金規程」「個人情報保護規程」の内容を確認し、同意いたします。奨学生として採用された際は、貴団体の奨学金規程に従い、その責務を果たします。

平成　28　年　●　月　●　日

この書類を記入した日付をご記入ください。

受給希望者　　明光　太郎

申込者　　明光　花子　　印（明光）

受給希望者・申込者それぞれ、直筆で署名をお書きください。
申込者の方はあわせてご捺印ください。

奨学金使用目的書（1/2）

記入例
（記入上の注意）

使用目的は、募集要項に記載された目的以外は認められませんのでご注意ください。
来年度（2017 年４月～2018 年３月）の学校生活や塾等における、勉強にかかる費用をご記入ください。

（１）将来の夢と学習目標（全員が記入）
僕の将来の夢は、小学校の先生になることです。その理由は、小学5年生の時の担任の先生がとても優しく、
悩み事の相談に乗ってくれたりして、自分もこんな先生になりたいと思ったからです。
そのために、学費の安い国立大学へ進んで、教員免許を取るつもりです。
僕は今高校2年生で、来年はいよいよ大学受験です。絶対に国立大学に合格するために、塾に通って、
苦手な数学のセンター試験対策をしたいです。

※　目標とする将来像（夢・職業・志望校など）と、そのために今どのような勉強が必要か、
また現状と目標とのギャップなど、できるだけ具体的にお書きください。

左端にチェックをいれてください。

（２）学齢と給付金額の確認（全員が記入）（募集要項３ページを参考にチェックを入れてください）			
☐	受給希望者の、2017 年４月１日時点の学齢は「小中学生等」	→	最大給付金額は　30 万円 …… A
☑	受給希望者の、2017 年４月１日時点の学齢は「高校生等」	→	最大給付金額は　50 万円 …… A
☐	受給希望者の、2017 年４月１日時点の学齢は「大学生等」	→	最大給付金額は　70 万円 …… A

左端にチェックをいれてください。

（３）奨学金の使用目的（全員が記入）（チェックを入れてください／複数可）		
☐	学校で必要になる費用	→（４）をご記入ください
☑	塾・予備校・家庭教師・通信教育の費用	→（５）をご記入ください
☐	自学自習用教材費用	→（６）をご記入ください

左端にチェックをいれてください。

（４）学校で必要になる費用の記入				
☐	現在、在籍する学校の最終学年ではなく、４月からも、今と同じ学校に通い続ける予定である			
	在籍校名		金額	①　　円／年
	来年の学校生活への意気込み			
☐	現在、在籍する学校の最終学年（小６、中３、高３等）であり、４月からは別の学校に進学する予定である			
	第１志望校名		金額	②　　円／年
	志望理由、この学校で学びたいこと			
	第２志望校名		金額	円／年
	志望理由、この学校で学びたいこと			
	第３志望校名		金額	円／年
	志望理由、この学校で学びたいこと			
	必要になる金額（①または②の金額を記入）			B　　円／年

一年間で必要になる金額を税込で記入してください。

志望度の高い順に３つお書きください。
（志望校が２つ以下の場合は、ある分だけご記入ください。また、４つ以上の志望校がある場合は、その他欄に学校名だけお書きください）

なお、ここにご記入のどの学校にも進学されなかった場合は、奨学金の給付ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

金額を記入する前に、募集要項６ページ（注２）を参考にして、「金額の根拠となる資料」をご準備ください。
「金額の根拠となる資料」に記載されていない金額は、原則として、本用紙には記入できません。
例外として、資料を用意できない場合は添付不要ですが、その理由をご記入いただく必要があります。

記入の際には、「金額の根拠となる資料」の、該当の金額が記載された箇所を、
赤いペンで丸を付けたり、蛍光マーカーで印を付けたりして目立たせてください。
（例：塾の授業料を希望するので、塾のパンフレットの該当の金額が書いてある場所に赤いペンで丸をつけて、
このパンフレットを「金額の根拠となる資料」として提出する）

なお、「金額の根拠となる資料」は、複数ご用意いただくことができ、
（例：「学校の給食費が書かれたプリント」と「学校の制服の料金が書かれたプリント」など）
これらを足し合わせた金額を記入することができます。
（例：「学校の給食費５万円」＋「学校の制服３万円」＝「８万円が必要」など）
この場合、それぞれの金額が書いてある場所を目立たせてください。
（例：それぞれのプリントの、「５万円」「３万円」と書かれている場所に蛍光マーカーで線をひく）

記入例
（記入上の注意）

奨学金使用目的書（2/2）

（5）塾・予備校・家庭教師・通信教育の費用の記入			
区分	塾 ・ 予備校 ・ 家庭教師 ・ 通信教育	費用	C 498,720 円／年
塾、予備校、家庭教師、通信教育機関名称	◎◎塾		
教室名（あれば）	●●教室	コース名（あれば）	センター試験対策コース
受講科目	数学		
受講したい理由、意気込み	絶対に国立大学に合格できるように、苦手な数学を勉強したいです。 数学のセンター試験では、最低でも7割は確実に解けるようにしたいです。		

一年間で必要になる金額を税込で記入してください。

（6）自学自習用教材の費用の記入			
書籍名、その内容、その金額、購入したい理由			
		合計金額	D 円

一年間で必要になる金額を税込で記入してください。

（7）給付希望金額（全員が記入）	
必要となる金額の合計（B＋C＋D の金額）	E 498,720 円／年
学齢に応じた最大給付金額（(2)で確認した A の金額）	A 50 万円／年
給付希望金額 （E の金額が A の金額より少ない場合は、E の金額をそのまま記入。 そうでない場合は、A の金額を記入。差額は自己負担となります。）	498,720 円／年
自己負担金が発生する場合、どのように補てんする予定かご記入ください	

例えば、大学生の方（最大給付金額70万円）が、学費で90万円必要な大学に通う場合、当奨学金の給付70万円を差引いた自己負担金20万円をどのような手段で用意する予定か（アルバイト、援助など）お書きください。

自己負担の金額がない場合、この欄の記入は不要です。

その他（金額内訳、備考、特記事項、金額の根拠資料の添付が困難である理由の説明など）
一緒に提出した◎◎塾のパンフレットの通り、塾の月謝は税込で 34,560 円×12 か月＝414,720 円ですが、
管理費用が毎月 2,000 円×12 か月＝24,000 円、入塾手数料で 5,000 円、講習費用で 50,000 円かかります。
ここまでの合計 493,720 円はパンフレットに記載がありますが、更に、テキスト代で約 5,000 円が必要だそうです。
このことは塾の先生に口頭で言われただけで、パンフレットにも書いていないので、資料は添付できませんでしたが、
これを合計した金額を記入しました。

記入した金額の内訳をご記入ください。（学費のみでの申込など、内訳が存在しない場合は不要です）

また、金額の資料を添付することが困難である場合は、その理由をご記入ください。

上記のとおり申告いたします。

平成 28 年 ● 月 ● 日

受給希望者		申込者	
フリガナ	メイコウ タロウ	フリガナ	メイコウ ハナコ
氏名	明光 太郎	氏名	明光 花子

本用紙の記入が終わったら、記入した金額と、「金額の根拠となる資料」に記載されている金額が、一致しているかどうか、もう一度確認してください。
（資料の添付が困難な場合は、その理由と金額が、本用紙にはっきり記入されていることをご確認ください。）

また、「金額の根拠となる資料」の該当の金額が記載された箇所が、印などで目立つようになっているかどうかも、あわせてご確認ください。

これらの金額が、（何の理由の説明もなく）一致していない場合や、「金額の根拠となる資料」に印などがつけられていない場合は、書類不備として失格になりますので、十分にご注意ください。

一カ月分の生活費申告書

記入例
（記入上の注意）

平成 28 年 10 月分の収入と支出 ※1			
収入 ※2		支出	
項目	金額	項目	金額
母パート代	100,000 円	食費	20,000 円
	円	家賃	25,000 円
	円	電気、ガス、水道代	15,000 円
	円	通信費（携帯料金等）	8,000 円
	円	医療費	5,000 円
	円	保険料	7,000 円
	円	服飾代（服、美容院,化粧品など）	5,000 円
	円	弟の通信教育	8,000 円
	円	その他雑費（交通費、日用品費など）	5,000 円
母給与	12万 円		円
母賞与	2万 円		
祖母年金	5万 円		
本人アルバイト収入	2万 円		
一人暮らしの兄からの仕送り	2万 円		
	円		
	円		円
	円		円
	100,000 円	合計	98,000 円

ご家庭の平均的な生活実態がわかるよう、任意の一カ月間の収入と支出をご記入ください。

主な支出項目を記載しています。該当する支出がない場合、空欄で結構です。

また、その他の支出については、項目名及び金額をご記入ください。

複数の収入がある場合、それぞれについてご記入ください。

ボーナスなど、隔月以上の周期で発生する収入・支出がある場合、月割計算の上、「一カ月分」としてご記入ください。

例：毎年、５月と 12 月に、ボーナスで 12 万円ずつの収入がある場合
　年間収入額＝12 万円×２回＝24 万円
　一カ月分の収入＝24 万円（１年分）÷12 カ月＝２万円

合計金額をご記入ください。
（収入合計と支出合計が一致しなくても構いません。）

この記入例では、「円」単位で記入していますが、「千円」、「万円」など、書きやすい単位でご記入ください。

…がわかるよう、任意の一カ月間の収入と支出をご記入ください。
…」「本人のアルバイト収入」「祖母の年金」などを分けてご記入ください。また、他
…助料、手当金、保険金、保証金など、他の収入があれば、それもご記入ください。
…されている項目の他、「本人の学校授業料」「兄の塾代」「美容代」「ローンの返済」
…態に合わせて項目を追加の上ご記入ください。

その他、特記事項など（任意記入欄）

毎月発生するわけではない大きな支出がある場合は、この欄にお書きいただくことができます。
（例：兄の大学の学費として、年間約 100 万円を、４月と９月に半分ずつ支払っている、など）

また、どうしても毎月特定の支出が高額になってしまう場合は、この欄でご事情をご説明いただくことができます。
（例：持病により医療費が高額、通勤費が自己負担のため交通費が高額、アレルギーで食費が高額、など）

上記のとおり申告いたします。

平成 28 年 ● 月 ● 日

※ 受給希望者が施設在住の場合、本用紙の提出は不要です。

申込者	
フリガナ	メイコウ　ハナコ
氏名	明光　花子

記入例
（記入上の注意）

学校の教職員の方へ

本財団「公益財団法人明光教育研究所」の「第三回給付奨学金」は、
学習意欲が高くても経済的理由で学習機会に恵まれない子どもたちに対して、奨学金の給付を行うことで、
子どもたちの明るい未来を創造することを目的としています。
本書類は、奨学金を希望する生徒様の 在籍する学校 又は 在籍されていた学校の教職員の方に、
ご記入をお願いしております。

大変お手数ですが、本書類へのご記入のご協力をお願い致します。

公益財団法人明光教育研究所

電話番号　03-5937-2691（受付：平日 9：30～18：00）（土・日・祝日を除く）
FAX　03-5937-2692（受付：24 時間）
Web サイト　http://www.meiko-zaidan.jp/
メール　info@meiko-zaidan.jp

推薦書

学生（受給希望者）		推薦書作成者	
フリガナ		フリガナ	
氏名		氏名	印
在籍	年　組	職名	

大変お手数ですが、ご記入者様のご署名・ご捺印をお願い致します。

学習所見	活動実績（部活、課外活動など）
出席状況（休学、停学等の状況を含む）	**健康状態**
人柄に対する所見	**推薦理由**

出席状況･健康状態につきましては､特筆事項や考慮すべき事情のご説明等がありましたらご記入ください。
そういったことがない場合は､｢問題なし｣等とご記入ください。

その他、特記事項など（任意記入欄）

公益財団法人　明光教育研究所　御中

本学に在籍する上記の者は、貴団体の奨学生として適当であると認め、推薦いたします。

平成　　年　　月　　日

学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学校長（学長、学部長）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

原則として、学校長様のご署名・ご捺印をお願いしておりますが、大学様の場合は、学部長様のご署名・ご捺印で結構です。